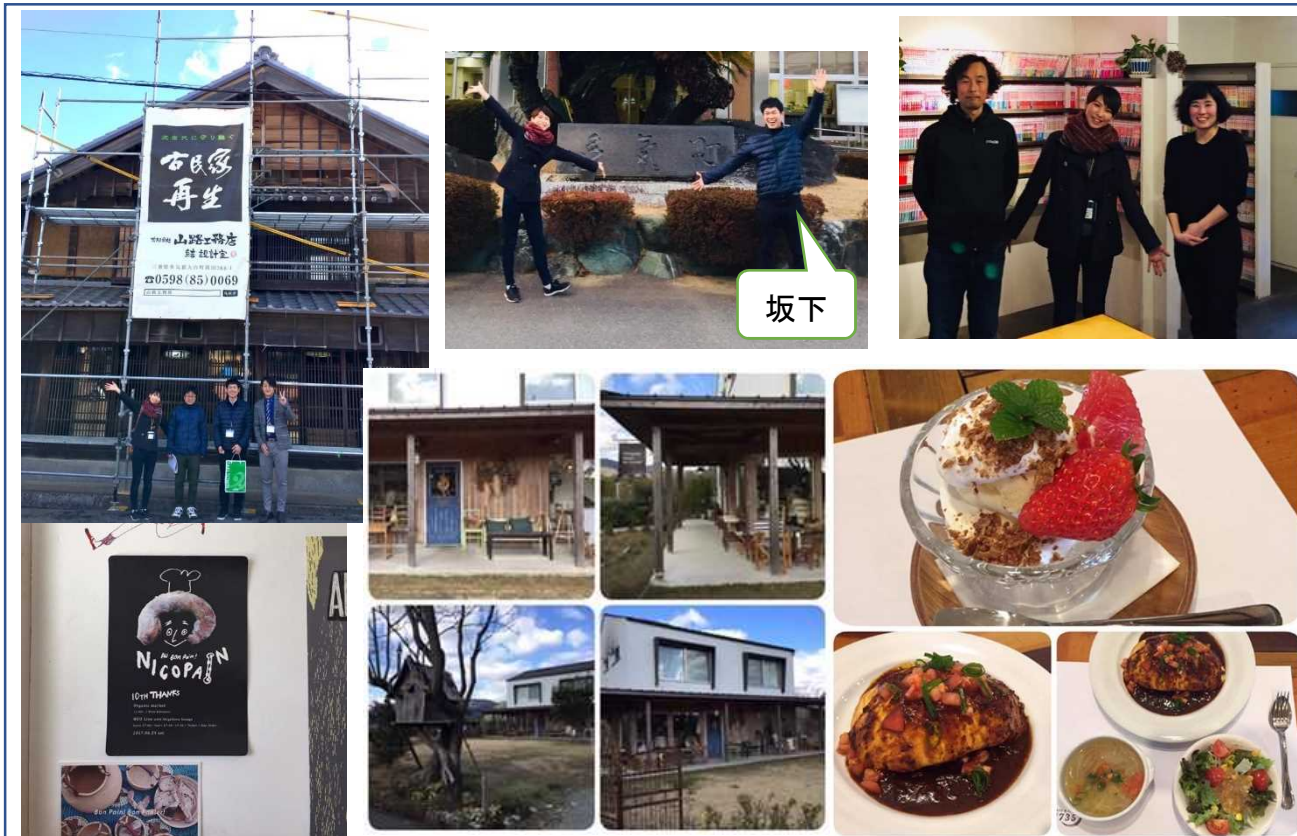


若者の地方体験交流 募集概要

たきちょう
三重県多気町 (人口：約 14,000 人)

体験種目：暮らし・イベント体験



(体験内容等)

○多気町では専攻のテーマに応じたフィールドワークのお手伝いをしております。関係人口の創出を掲げ、人口減少への取り組み、空き家問題、雇用の確保、縁結び支援、公共交通に取り組んでいます。本質的なワークライフバランスとは？リフォームとリノベーションの違いは？築130年の家の住み心地は？商圏1万4千人でも起業はできる？等ご相談ください。個性豊かなキーマンと話ができ、多気町の食もお楽しみいただけます。時期によっては就農体験もあります。

(受入期間) 随時 最短1時間～1泊2日等ご相談に応じて対応(移住フェアや相談会のお手伝いも可)

(最寄りの交通機関・所要時間)

最寄り駅：多気駅 JR関西本線 多気駅～名古屋駅(快速みえで1時間17分)

※公用車で町内案内も兼ねておりますので時間に合わせて多気駅集合・解散できます。

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 特になし。
- 応募締切 事前相談必須。随時受付。(議会等スケジュールによっては対応できない場合があります)
- 費用負担 案内対応は無料。交通費、食費、宿泊費は自己負担をお願いします。
- 宿泊施設 町の施設は五桂池ふるさと村、勢山荘あり。一般ビジネスホテルはホテルエコノ多気様があります。
- 食 事 ご希望に合わせて高校生レストラン、農家レストラン、松阪牛、伊勢芋料理等ご案内いたします。
- その他 アレルギー等はお気軽にお申しつけください。

(担当者から一言)

関係人口ってそもそもなんだろう、移住者って誰のことを指すの？私自身が多気町に移住してイメージと現実の違いに気づくことができました。地方は元気がないって本当？古い家には住みたくない？地域の資源ってなに？地方の教育って本当のところどう？イメージを心地よく覆してくれる人が多気町にはたくさんいます。私にも学生時代があり、フィールドワークを受け入れてくれた役場の方々がいまして。まさか私が受入側になれるとは思っていませんでした。皆様の若い感性で改めて地方を見つめていただければと思います。

(受入実績：皇學館大学様、愛知大学様、東海大学様、人間環境大学様 等)

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 多気町 企画調整課 坂下悠介

TEL：0598-38-1124 E-mail：kikaku@town.mie-taki.lg.jp

URL：www.town.taki.mie.jp/

